

三川小だより

旭市立三川小学校 児童数207名
No.11 平成30年2月21日(水)

- ☆ 学校教育目標 「自ら学び、心豊かでたくましく、ともに助け合う児童の育成」
- ☆ 子どもたちとめざすスローガン! 「よく学び、よく遊べ!そして、助け合う 三川っ子!」

発行責任者 校長 櫻井良敬

平成30年度以降の三川小の教育課程を考える No.1

前回の三川小だより (No.10)「校長のひとりごと」の中で、次のように述べました。

校長のひとりごと : つれづれなるままに

子どもたちが来年度に向けて進んでいるように、学校も準備を始めています。全国の小学校は、2020年度から教育の基準である学習指導要領が変わります。来年度からは移行期間といい、そのための準備期間となります。例えば、道徳が教科化に伴い道徳科となり、国語などと同様に、教科書(これまでは副読本)を使って学習し、評価があります。また、3・4年生で外国語活動、5・6年生で外国語が始まり授業時数を増やさなければなりません。子どもたちの学力や心を育むことは変わりませんが、学校は、その授業作りや評価にこれまで以上に時間が必要となります。子どもたちとゆとりをもって学習と生活を送るための工夫が必要となり考えていきます。

そこで、来年度以降の三川小学校の教育課程(時間割と学期制)について、三川小だよりを通じて、これから順次説明をさせていただこうと思います。

まず、時間割についてです。

1 3年生から6年生では、時間割を1時間増やさなければなりません

『時間割の増加はどのようにして必要?』

<資料: 各期間における授業時数 >



どんな工夫が必要?

| | | 3年生 | 4年生 | 5年生 | 6年生 |
|-----------------------|-------|-----|------|------|------|
| 現行学習指導要領 (~2017年度) | 外国語活動 | — | — | 35 | 35 |
| | 総授業時数 | 945 | 980 | 980 | 980 |
| 移行期間 (2018・19年度) | 外国語活動 | 15 | 15 | 50 | 50 |
| | 総授業時数 | 960 | 995 | 995 | 995 |
| 新学習指導要領 (2020年度~) | 外国語 | — | — | 70 | 70 |
| | 外国語活動 | 35 | 35 | — | — |
| | 総授業時数 | 980 | 1015 | 1015 | 1015 |

来年度から2年間は移行期間中ではありますが、2020年度の授業時数増に向けて考えていかなければならないと思います。

上記の資料から、3・4年生の外国語活動と5・6年生の外国語の教科化による授業時数増への対応として、時数を1時間分増やす必要が生じます。ですから、時間割の中に授業時数の確保のため1時間を新たに組み入れなければなりません。時間割の工夫が必要となります。

続いて学期制についてです。

本校では、2学期制への移行を考えています。これについては、次号より説明をしていきます。